

★あけぼの★

上越市立直江津南小学校

保護者・地域の皆様に支えられて ～ありがとうございます～

校長 平間 えり子

感染症予防と熱中症予防で始まった2学期ですが、暑さはだいぶやわらぎ、25日の運動会に向けた練習にも熱が入ってきています。

2学期に入り、子どもたちの活動に広がりが出てきています。感染症対策に十分努めながら、子どもたちの活動の充実に努めています。その中で、保護者・地域の方々から多々ご協力いただいております、大変ありがたく、うれしく思っています。いくつかご紹介いたします。

感染症対策のために職員が毎日行っている消毒作業が大変だろうから手伝おうと、後援会の皆様が各町内に働きかけてくださり、9月より手伝ってくださっています。清掃後の2時頃から1時間ほど、無理のない範囲で都合のつく方がおいでくださり、各階や各棟でいねいに消毒をしてくださっています。おかげで消毒作業がスムーズに進むとともに、子どもたちが安心して気持ちよく活動することができています。

登下校時に、保護者や地域の方々から横断歩道や危険個所で子どもたちを見守っていただいたり一緒に歩いていただいたりし、子どもたちの安心安全につながっています。あいさつなどの声かけも、子どもたちの励みになっています。

高館同窓会長様から、子どもたちに本のプレゼントをいただきました。(裏面に紹介)

今年度は、図書の貸し出し冊数が増えています。図書館ボランティアの方々为本の整理を始めてくださり、子どもたちが気持ちよく使いやすい図書室の環境を整えてくださっています。

9月から始まったクラブ活動。華道や手芸、サイエンスクラブで、ボランティアの方々からお手伝いをいただきます。感染症対策のため、調理クラブ等開設ができず、ボランティアにおいていただけないクラブもありますが、開設ができるようになりましたら、ぜひご協力をお願いします。

授業への支援もいただいています。総合学習で地域の方から講師においでいただいたり、商店街の方々に作品展示の協力をいただいたり、あるいは、上教大院生から授業研究や教材づくり、環境整備のための支援をもらったりしています。感染症予防のため活動に制限がある中でも子どもたちの学びが深まるように、協力をいただいています。

子どもたちを、学校を支えてくださる皆様のお気持ちに深く感謝申し上げます。今年度は、感染症対策のため、諸行事を縮小したり各種会議を書面審議にさせていただいたりするなど、皆様と直接触れ合う機会が減っています。しかし、このような状況の中でも皆様と深くつながっている学校でありたいと願い、今後も皆様とともに歩む学校づくりを進めていきます。これからもご支援、ご協力をよろしく願いいたします。



学校生活アンケートの結果よい

1学期末に、保護者の皆様と全校児童を対象に、学校生活についてのアンケートを取らせていただきました。アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

保護者アンケートでは、「本校は、いじめのない安心・安全な学校づくりに、誠意をもって取り組んでいると思われませんか。」が高評価でした。「いじめ見逃しゼロスクール」に全県を挙げて取り組んでいますが、高評価をいただいたことを糧に、今後も職員の意識を高めるとともに、子どもたちへの日常的な指導に努めていきたいと思えます。「お子様のがんばりやよい行いを、認めたりほめたりしていますか。」も高評価でした。ご家庭でお子さんの頑張りやよいところを認めほめている様子が伝わってきました。学校でも、子どもたちができたことを認めたりほめたりして、「できた。」「分かった。」という気持ちを高める取組を続けていきます。学習やアウトメディアの取組が他の項目よりも低い傾向にあります。学年に合った時間を学習できる、メディアに接する時間をコントロールしていけることが日常のこととして定着するように指導をしていきます。

子どもたちのアンケートでは、「授業が楽しい。」「自分のクラスで過ごすのが楽しい。」が高評価でした。日頃の学級経営や授業改善の成果と思われる。しかし、低い評価をしている子もいます。少数ではあっても、子どもたちの思いに気持ちを寄せ、全ての子どもたちが学校が楽しい、学級が楽しい、授業が楽しいと思えるように、今後も指導に当たっていきます。

1学期の保護者アンケートの様子

	設問		全校			
			はい	だいたいはい	すこしいいえ	いいえ
全体	1	お子様は、学校へ行くことを楽しみにしていますか。	72%	22%	5%	1%
全体	13	本校は、いじめのない安心・安全な学校づくりに、誠意をもって取り組んでいると思われませんか。	53%	44%	3%	0%
全体	14	授業や学校での子どもたちの様子について十分な情報が得られていますか。	24%	64%	11%	1%
学び	2	お子様は、授業で学習した内容が身に付いていると思われませんか。	36%	51%	12%	1%
学び	3	お子様は、自分から進んで学年の目標時間勉強していますか。	29%	45%	21%	5%
学び	4	ご家庭では、お子様が家庭学習しやすい環境を整えていますか。	29%	53%	17%	1%
心	5	お子様のがんばりやよい行いを、認めたりほめたりしていますか。	62%	35%	3%	0%
心	6	ご家庭では、進んであいさつを交わしていますか。	61%	29%	9%	1%
心	7	お子様は、思いやりのある言葉がけや行動をして、温かな人間関係を作っていますか。	44%	47%	8%	1%
心	8	いじめにつながりやすい悪口やからかい、仲間外しをしないよう話し合っていますか。	65%	31%	3%	1%
心	9	学校だよりや学年だより、授業参観を通して、人権教育、同和教育への関心が高まりましたか。	25%	65%	9%	1%
体	10	ご家庭では、お子様が目当ての時刻を守り、早寝早起きができるように働きかけていますか。	43%	47%	9%	1%
体	11	お子様は、アウトメディアのきまりを守って生活していますか。	21%	39%	31%	9%
体	12	ご家庭では、三食とも好き嫌いせず、栄養バランスを考えて食べるように、働き掛けていますか。	52%	40%	7%	1%

1学期の子どもたちの様子

	設問		全校			
			はい	だいたいはい	すこしいいえ	いいえ
学び	1	授業が楽しい。	78%	20%	1%	1%
学び	2	授業がよくわかる。	65%	29%	5%	1%
学び	3	国語や算数の授業では、友達の意見をきいて、自分の意見を見つめなおすことができた。	66%	27%	6%	1%
学び	4	自ら工夫して学年×10分の家庭学習を行った。(1年生は15分、2年生は25分)	60%	28%	9%	3%
心	5	自分のクラスで過ごすのが楽しい。	88%	9%	3%	0%
心	6	自分にはよいところがある。	67%	24%	6%	3%
心	7	誰にでも進んであいさつをすることができた。	58%	32%	6%	4%
心	8	思いやりのある言葉がけや行動をすることができた。	63%	31%	4%	2%
心	9	自分の仕事や役割を果たし、よいと思うことを進んで行うことができた。	72%	23%	4%	1%
心	10	悪口・からかい・仲間外しなど、自分がされて嫌なことは人にしなかった。	77%	16%	4%	3%
心	11	道徳の授業では、差別や人権問題について進んで考えることができた。	78%	19%	2%	1%
体	12	体育の授業は自分のめあてに向かって進んで運動に取り組んだ。	78%	18%	3%	1%
体	13	早寝早起きを守れた。(夜、1・2年は9時、3・4年は9時30分、5・6年は10時までに寝る。)	52%	34%	9%	5%
体	14	テレビやゲームなどのメディアにふれる時間を守った。(1日2時間以内)	50%	30%	12%	8%
体	15	給食で盛り付けられた量を残さず食べた。	75%	13%	8%	4%

運動会スローガン 「 今だからこそ！ 両軍ともに 一致団結 南っ子！ 」

9月25日（金）の運動会に向けて、子どもたちの気持ちも高まっています。子どもたちが考えたスローガンや応援幕も準備されました。活動に制限がある中でも、子どもたちは何ができるか考えたり、どうすればできるか工夫したりして取り組んでいます。6年生が全学年のよさこいやリレーの際に、合いの手を入れたり、間隔を空けて声を出して応援をしたりして運動会を盛り上げます。きっと白熱した運動会になることと思います。



ご寄贈 ありがとうございます。

学校同窓会長 高舘 徹 様より、児童用に「子ども哲学シリーズ」の本を寄贈いただきました。1学期にも、「ムーミン童話シリーズ」の本を寄贈いただきました。ありがとうございました。大切にさせていただきます。



10月の行事予定

日	曜	行事予定	絵
1	木	3年生校外学習	○
2	金	5年生自然教室	○
3	土		×
4	日		×
5	月	委員会 あいさつ運動 (10/5~10/9)	○
6	火		○
7	水	カウンセラー	○
8	木		○
9	金	1年生校外学習 クラブ	○
10	土		×
11	日		×
12	月	委員会	○
13	火	ベルマーク	○
14	水	カウンセラー	○
15	木		○
16	金	クラブ	○

日	曜	行事予定	絵
17	土		×
18	日		×
19	月		○
20	火		○
21	水	カウンセラー	○
22	木	6年生修学旅行	○
23	金	6年生修学旅行	○
24	土		×
25	日		×
26	月		○
27	火		○
28	水	カウンセラー	○
29	木		○
30	金	歯科検診 クラブ	○
31	土		×

人権コーナー

被差別部落のことや同和問題を
知っていますか？

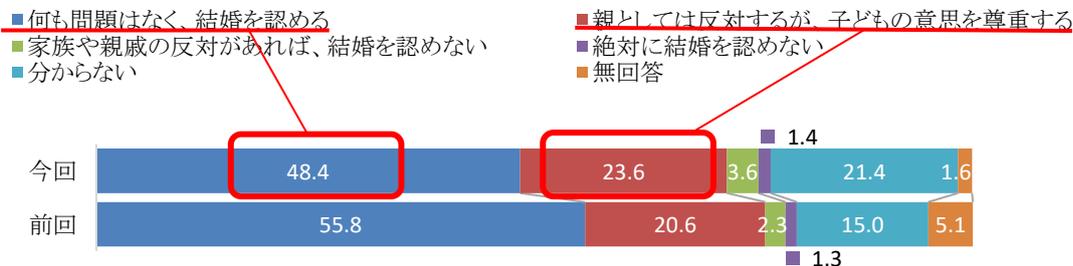
同和問題は、いまだに解決されていません。みなさんはこの問題についてどのようにとらえていますか。“知らないことは、差別につながります。”一緒に考えてみましょう。平成27年に上越市では「上越市人権・同和問題に関する市民アンケート調査」を行い、その結果の分析報告をネット上に公開しています。いくつか紹介します。

問19 あなたは、日本の社会に「被差別部落」と呼ばれていた同和地区、あるいは「同和問題」といわれている問題があることを知っていますか。1つ選んで○をつけてください。



「知らない」と回答した人が3割に達していることは、一層の啓発が必要であることを示しています。年代別には20歳代、30歳代が比較的高くなっています。若年層を中心に啓発を進める必要があると言えます。

問24 あなたの子どもの結婚しようとする相手が、被差別部落の人であると分かった場合、あなたは どうしますか。1つ選んで○をつけてください。



この質問の前に「日ごろ親しく付き合っている隣近所の人が被差別部落の出身であることが分かった場合、あなたは どうしますか。」という質問を行っています。この質問に対して「これまでと同じように親しく付き合い」と回答した人は86.3%でした。本問では「何も問題はなく、結婚を認める」が48.4%となっています。我が子の結婚という局面になると差別意識が顕在化するように思われます。また「親としては反対するが、子どもの意思を尊重する」が増えていることから、差別が悪いと認識していても、当事者になることをためらう複雑な心情が推察されます。

被差別部落の人に対する差別は今現在も続いています。結婚に対する差別がいまだに起きてきます。差別する人の言い分に「あの人は血が違う」「人種が違う」などと言う人がいますが、本当にそうでしょうか。人類の起源から考えると、人類は皆どこかで繋がっています。噂や迷信、根拠のない言い伝えなどに惑わされず生活していきましょう。

小学校では6年生で、中学校では全ての学年で、同和問題を扱った授業を行っています。ぜひ機会を見つけて参観をお願いいたします。

直江津中学校区は、文部科学省委託人権教育研究推進事業の3年次となります。本年度は委託の最終年度となり、これまでの取組の総決算となります。この「人権コーナー」を活用して、本取組を紹介していきたいと思っております。